

## 第12回 成瀬小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2026年2月20日（金） 10:44～11:23	
開催場所	町田市立成瀬小学校 2階 図書室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	福士委員、赤澤委員、阿閉委員、細谷委員、山崎委員、渡辺委員、沖委員、田辺委員、中村委員、◎吉成委員、○山本委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

### 議事内容（敬称略）

#### 1 第11回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1 説明）

#### 2 報告事項

##### （1）通学路の安全対策について

学務課 （資料2-1-1、2-1-2、2-1-3 説明）

##### （2）子どもたちと進める新たな学校づくりの取組について

新たな学校推進課 （資料2-2 説明）

委員 子どもたちの意見を直接聞くという大切な取組を丁寧に行っていることがよく分かった。授業として行ったということだが、そのときに子どもたちはどんな目的意識で意見を言ったのか。それが分かると、そのとき子どもはこんな思いで言っていたというのがより分かりやすくなるかと思う。

新たな学校推進課 我々職員が、それぞれの班に1人ずつ入って子どもたちから直接意見を聞いた。市役所の大人が近くにいるということで、子どもたちは緊張するかと思ったが、それほど緊張することなく、今思っていることを直接ぶつけてくれた。その中で、やはり嫌なことは嫌、遠いのは嫌だ、新しい友達が本当に不安だった、などの気持ちが出てくる一方で、今はすごく仲よくやっているんだよというようなことを言ってくれ、子どもたちの本当に正直な気持ちが出てきたのかと思っている。100人の子どもがいれば、数人はよく思っていない子がいるというのは感じたが、ほとんどの子どもは前向きに捉え、不安な気持ちを乗り越え、一緒になってよかった、楽しかったと言っていた。

委員 現状の自分たちの率直な気持ちを教育委員会の皆さんにお伝えし、その伝えたことが来年以降の自分たちの学校生活に反映されるかもしれない、というような思いを持ち、なおかつ、今後、この学校じゃない統合を控えている学校の子どもたちにもメッセージを送っている、というような複数の意味を持った授業と解釈した。

### (3) 学校や児童の様子について

委員

統合してほぼ1年たつが、教室の定員が35人のところを34人、35人が入っている学級が多くある。また、校庭での遊び方も、人数が増えたこともあり、ルールが多くなったため、子どもたちのストレスは否めないところがある。新校舎ができるまでの3年間、こういった生活が続いていくため、なるべく安全に、そして快適に過ごせるようにしていきたいと思っている。

しかし、人数が増える则可以することも増え、お友達も増えていく。例えば、体育で色々なボールゲームをしていく中でも、対戦相手が増えていくため、そういったところはよかった点だと思う。また、お友達が増えたため、遊ぶ範囲も広がったと思う。

また、小さい頃から、この子はこんな感じなんだ、こういう子なんだと、お互いにだんだん分かってきて慣れていくのとは異なり、初めて会う子との付き合い方がなかなか難しく、やはり高学年になるほど難しかったように感じている。もちろん1年生は初めから一緒であるため、統合という感じはないが、割と低学年のほうがすんなりなじめているように見えた。6年生も中学校、南成瀬中学校で一緒になるため、それが少し前倒しになったと思うてくれればと思っている。

色々な行事を見ていただく機会も多かったと思うが、展覧会であれば、人数が多いと、あれだけの作品がしっかりそろって、やはり見応えがある。あの子、こんな作品を作るんだ、と見直すことや、意外だなと思うこともある。運動会もボリュームがとてもあり、パワーを感じた。そんなところは、学校としてはとてもよかったと思っている。

また、2年目、3年目とやっていく中でどんだんなじんでいき、成瀬小学校として固まっていけるのではないかとと思っている。新校舎に移る際には、しっかり土台がつくられて引越してできるようになるかと思う。

新校舎に行けない学年は少しかわいそうに思うが、新しい校舎はこんな感じだよと見せると、とても喜ぶ。行けない学年も、半分は行けないのにな、と思いながらも、わあ、いいな、早く行きたいねと、やはり自分たちの学校という意識はあるようで、よかったと思っている。

子どもたちはなじんでいったが、保護者の方はいまいちなじみ切れないところがあり、子どもとの温度差がかなりあるというのが今の悩みである。学校はこういう活動をしていますよ、子どもたちは楽しんでますよ、落ち着いて学習もできていますよ、と発信していくことが大事だと思っている。高学年はしっかり下学年の面倒を見ており、走り回っている子も少なく、教室では少しやんちゃな子が「静かに、しーっ」などと言っているため、やはり小さい子と交わるのはいいことだと思っている。そのような姿を見ていただいたり、発信したりすることが大事であると思うので、その点は反省している。

保護者同士の関わりがあまり計画できていないため、2年目以降、保護者会を活用したり、何かの活動でお手伝いに来ていただいた中で、保護者同士の関わりを増

やしていき、だんだん新校が立ち上がっていくように、来年度に生かしたいと思っている。

委員

ボランティアコーディネーターとして1年間活動してきて、やはり最初の頃は2校のそれぞれのやり方があったため、新しいやり方に戸惑うこともあったかと思う。クラスも増えたため、対応の仕方を否応なしに変えなければならないこともあったが、何だかんだ言いながら、2つの学校のそれぞれの要素を取り入れて活動が展開できたため、人の力のすごさを感じた。人が信頼し合って活動していくということが大事で、これが来年度、2年目への足がかりになり、語っていける要素になるような経験をしたと思っている。

学校行事を通して、おうえん会の方々や、他の保護者の方との話合いの機会もできたため、2年目に向けて何とかやっていけるのではないかと、2年目を楽しみに思っている。

委員

今年1年間は、保護者組織にあえて関わらず、学校にとって必要な組織とは何かというところに着目して活動を見守っていた。色々な方向からの話を聞いて、やはり両校の保護者同士が関わる機会がないため、学校側が何を求めている、何が 필요한のかが分からないからやらない、となっているように思う。自分たちから自発的に聞くということが少し足りていないために、遠足や、行事のボランティアもVCさんを筆頭にという形で動かざるを得なかったように見えた。

2月に入ってからおうえん会からアンケートの集計結果と来年への展望という文書が出た。私も目は通したが、いわゆる総会を開いたわけでも、予算会議を開いたわけでもない中で、全て報告という形で記載されていたため、保護者組織を名乗るのであれば、来年度以降、少し改善していく余地があるように思う。役員選をやらず、本当にやりたいと思う気持ちのある方だけで集まるというように書かれていたが、2年目以降もその形で進めていいのか、学運協としても、保護者の方からどうしてお手伝いがあるといいのかや、ほかの学校ではどうやっているのかなど、意見を集約して伝えられると、保護者組織としても動きやすくなるのではないかと思う。

組織で活動されている情報が少なく、分かりかねる部分が多い。口を出すことが全てではないと思うが、学校の先生も一緒に入っている組織のはずなのに学校の先生に報告がなかったり、お便りが配信されたことを知らなかったりということもあったため、そういうことを1個ずつ、どうやって埋めていくべきなのかを考えながら、1年間活動を見守っていた。

恐らく、皆さんもおうえん会さんの活動内容や、どういうふうに動いているかということは知らない方のほうが多いと思うが、学運協というのは学校の評価をするための組織であると思うため、保護者組織のことも少し気にかけていただけるといいと、個人として思った。

委員

去年までは、PTAとけやきの会の代表の方がこの会に参加していただいていたため、ここで報告を受けることが可能だったが、今は難しい状況がある。来年以降考えていかなければならない課題だと思っている。

### 3 その他

(1) 成瀬小学校新たな学校づくりの今後の検討課題等について  
新たな学校推進課 (資料3 説明)

#### 【学校教育部長挨拶】

学校教育部長 本協議会は、2023年度に第1回を開催してから3年間、12回にわたり議論を重ねていただき、本日をもって全日程を無事に終えることができました。これもひとえに、委員の皆様がそれぞれのお立場やご経験に基づき、真摯に議論を重ねてくださったおかげであり、心より感謝申し上げます。

振り返ると、本協議会では、2025年4月の成瀬小学校の開校、2028年度の新校舎使用開始に向けて、通学や児童への配慮、施設整備、歴史の継承、校歌・校章など、基本計画に掲げる多岐にわたる課題に対し、活発で建設的なご意見を頂戴してきました。こうした皆様の熱意とご尽力のおかげで、4月の成瀬小学校の開校を迎えられたと確信している。

今後は、2028年4月の新校舎使用開始に向けて、学校運営協議会に議論の場を移していくことになるが、ご尽力いただいた皆様には引き続き、成瀬小学校の運営にご協力賜りたい。

もちろん、教育委員会としても、しっかりと伴走支援をさせていただく。引き続きよろしくお願いいたします。

改めて、皆様のこれまでのご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、閉会に当たっての挨拶とさせていただきます。

委員

統合1年目ということで、それぞれの立場で色々なことを感じながら活動してきたと思う。この1年目の活動があったからこそ、2年目につながり、何年後かの新校舎での子どもたちとの生活につながっていくと思うため、大変貴重な1年だったと思う。

また来年度に向けて頑張ってもらいたい。